



日本共産党区議会議員

伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familye.ne.jp/~k-itou/index.html>



戸籍や国保まで外部化?

どうなる 私たちの生活やプライバシー

公共サービス「改革」といってけれど、行政の役割放棄、個人情報の漏洩、官製ワーキングプア増加のおそれ

足立区が全国の自治体と呼びかけ「研究会」
足立区長は9月21日、「行政改革」の一環として区の窓口業務や国保、戸籍、会計出納など自治体の「専門定型業務」を、外部に委託する手法を研究するための「日本公共サービス研究会」を、全国の自治体と呼びかけて立ち上げた。自慢げに本会議で挨拶しました。

7月27日第1回会合
152自治体が「参加」
研究会「立ち上げ」となった第一回会合は足立区千住の東京芸術センター天空劇場で開かれ、99自治体が出席し、その他「加盟」53自治体を加え、152自治体で発足しました。区は、今後メール会議方式で情報交換するなどして研究を進めるとしています。



8月17日の区議会総務委員会で報告され、日本共産党は詳しい説明を求めるとともに、問題点を明らかにし批判しました

「実際に突破口を開けることが一番のねらい」と近藤区長

会合では足立区の近藤区長が研究会立ち上げの経緯を説明。2006年ごろから市場化テストの導入をめざしたが(労働法に違反する)「偽装請負」や「公権力の行使」の規定に反する疑念などから断念したこと

そして、従来は外部化(委託化)が不可能と思われた自治体業務をいかにすれば可能となるか研究するとともに、現場で懸念される課題などを自治体間の連携で議論したい旨を述べ、「研究会と銘打っているが、実際に突破口を開けることが一番のねらい」と強調しました。

自治体の変質・自己否定につながる危険な方向
自治体の使命遂行や、より効率的・効果的な行政サービスのために研究や改革を進めることはいいことです。が、いま足立区が「研究」し「突破口」を開けようとしていることは、第一に自治体の使命・役割を投げ捨て、自治体の変質・自己否定にもつながる危険な方向です。

区役所の(国保や納税や戸籍などあらゆる)窓口業務は、公務員が受け付け、処理しているからこそ本人確認やプライバシーの保護、公的事務の遂行など、「公権力の行使」を

伴って正常に行われています。

これが「民間委託」されたら、それをチェックする公務員がその奥

に必要になるなど、「二度手間」「二重チェック」の無駄が生じるだけでなく、役所がやっているから住民は国保も戸籍も納税も信用して手続きに行くわけで、「民間会社」なら民間の保険と同じように、入る人なら本人の自由になって、役所は要らなくなってしまう。

「自分たちの責任を他に譲るといってことなら大変」
日本共産党は総務委員会でのよ

うな指摘をして批判しました。
他党議員からも「人件費の削減、最少の経費で最大の効率を上げる(ため)だけでこれが発足したのか」「自分たちの責任を他に譲るといってことになってしまったら大変」「公から民に移すというならもう少し適切な理念があるのではないか」「そこを聞かせてもらわなくてはイエスと言えない」など疑問の声が上がりました。

各種窓口業務、会計、出納、国保、介護保険関連、設計、積算、入札、契約

日本共産党は「外部化」「委託化」の対象はなにかと質問すると区は各種窓口業務、会計、出納、国保、介護保険関連、設計、積算、入札、契約などの専門定型業務であること

を認めました。
公権力の行使・偽装請負・ノウハウ
区はまた、公権力の行使にかかる



部分は委託できないこと、民間業者にノウハウがないもって委託すれば指揮・命令という問題が発生し偽装請負になってしまうことも認めました。

サービスの低下
個人情報の漏洩

区が進めようとしている「公共サービス改革」＝専門定型業務の外部委託化は、部分的な業務の委託ではなく中心的・専門的業務の委託ですからノウハウのない民間業者では十分遂行できず、サービスが低下する恐れが大きい。また、ノウハウのある公務員から指示を受けながら業務を遂行すれば偽装請負となります。

健康保険料額や通院の状況、あるいは戸籍の家族関係、あるいは公平性が命の入札や契約など個人情報の一番重要な部分が民間業者の間で扱われることになり、個人情報の漏洩が非常に懸念されます。

低賃金労働の拡大、公務員の削減など雇用問題が必ず発生

公共サービスの外部化・委託化の目的は突き詰めれば人件費の削減です。公務員より安い低賃金労働者を区役所が増やすことになります。区は民間業者であっても正規雇用だといいますが、区の職員より条件が良くなることはありません。

また、外部委託に伴って区の職員は削減され、たとえば災害時でも職員が少なくて対応できなくなるなど自治体の使命が果たせなくなりま

す。
みなさんのご意見、要望をお寄せください。
(伊藤和彦)

第三回定例会はじまる 足立区長の挨拶

第三回区議会定例会が開かれ、9月21日の本会議で行った近藤区長挨拶の要旨をお知らせします。



生活保護給付、子ども手当で支給など扶助費の増、普通建設事業費の減で歳出を抑制した。経常収

支比率は87.0%、3年連続で適正水準の80%を越えた。「財政の硬直化はさらに進み、黄色信号は灯ったままの状況」と述べ、「新たな行政手法を導入し、人と財源を確保していくことが必要」と「日本公共サービス研究会」を発足した。

「聖域とすることなく見直し、経費縮減と区民サービスの更なる向上を目指していく」と(一面ニュース参照)挨拶しました。

第2回定例会で認めていただいた復興増税を財源として減災を目指すため、解体除去の助成額、住宅の耐震改修の助成額も増額し、耐震化等のスピードアップを図っていく。公園には防災井戸、災害緊急トイレ、ソーラーLED照明灯を設置していく予定。

ユニバーサルデザインのまちづくり、暴力団排除の条例を制定する。竹ノ塚駅付近鉄道高架化は8月下旬に東武鉄道により施工業者が決定し、工事説明会、11月竣工式に向け準備を進めている。

第三回定例会区議会は

補正予算の主な内容は、「財政調整基金積立金」20億円余、「公共施設建設資金積立基金積立金」8億円余金、「予防接種事業」4億円余など補正予算は3億8千2百万円余の増額補正、介護保険特別会計補正予算は2億3千6百万円余の減額補正と挨拶しました。

近藤・足立区長は、挨拶で8月に東京武道館で「国体のリハーサルであるスポーツ際東京2013リハーサル大会を開催し、無事終了することが出来た」こと、54年ぶりに開催される本大会の成功に全力尽くす。

平成23年度決算は収入総額、約2454億円。歳出総額は約2371億円。決算総額がほぼ横ばいになったのは、

これまで外部委託化されていなかった「各種窓口業務や会計、戸籍、国民健康保険など、専門性はたかいたけれど」

日本共産党が予算編成時に提案した内容を検証し、行財政運営を区民福祉向上にきりかえることを求め決算特別委員会で論戦します。



今年8月3日の石巻沿岸部(右奥は市立病院跡)

9月11日

東日本大震災から1年半 34万人が避難生活今も 福島では16万人が

9月11日で東日本大震災から1年6ヶ月になりました。死者は1万5870人、行方不明は2814人、合わせて1万8000人余となっています。岩手、宮城、福島3県などの被災者約34万人が、いまだに仮設住宅や借り上げ住宅での避難生活を余儀なくされています。

遅れる生活の再建、原発被害対策

日本共産党足立区議団は福島県いわき市に2回、宮城県石巻市に3回行くなど被災地支援活動に取り組みながら、大震災と原発事故の教訓を生かした足立区政への転換推進の先頭に立っています。

陸前高田市の奇跡の一本松

絵本「奇跡の一本松」の普及や「鯨肉の缶詰」の販売など被災地支援活動を継続しています。よろしければお電話ください。

3880-5770 区議団控室
伊藤 和彦

橋下「維新の会」が注目されているが・・・

「公約違反の宣言」!?

Q、橋下「維新の会」が国政政党として旗揚げしましたが、政策はどうなんですか？(区民の方より)

A、国政に進出をめざす「日本維新の会」を結成した「大阪維新の会」・橋下徹代表(大阪市長)は、10日に市役所で記者団に対し次期総選挙資金に関して、企業献金を受ける意向を示しました。

「日本維新の会として企業献金は受けないのか」との質問に、橋下氏は「選挙はただではやれない」「国民が選挙で寄付をしてくれる文化はない」「受け取らないというのなら、どうやって選挙をするのか」と居直りました。

新党の「綱領」だという「維新八策」には企業・団体献金の禁止を掲げていますが、早くも「八策」とは食い違う発言をした格好で、公約違反は常套手段になるかもしれません。橋下氏は原発問題でも再稼働を認めて、国民から批判をあびています。「集団自衛権行使を認める」「消費税増税やむを得ない」などと発言し、古い自民党型政治を過激な発言で注目させ、憲法無視、強権的に独裁政治を全国に広げようとしています。(伊藤 和彦)



多摩平団地へ調査

団地型のシェアハウス、菜園付き賃貸住宅、サードスペースなど高層者向き住宅などを視察してまわり



日野市・多摩平団地(全面建替え)の調査を大島よしえ都議と9月10日、花畑団地の住民のみなさんと行いました。

ました。賃料が8万5千円余、11万円余と聞き参加者が驚きました。(伊藤和彦)